

白山手取川流域

SDGs 認定制度

2021年度

白山手取川流域

オンライン講座

どなたでも参加可能

参加  
無料

# 地域デザイン・SDGsビジネスセミナー

## 地域デザイン・SDGsビジネスセミナーとは？

### 地域の可能性を生かした地域デザイン・ビジネス創出手法を学びたい人へ

新型コロナウイルス感染拡大によって、私たちの暮らし方や空間、人々のニーズが大きく変わっています。そして、欧州を中心に、with/after コロナに向けて、SDGsを重視した生活やそれを支えるビジネスにヒト・モノ・カネといった資源が集まる動きが加速しています。地域デザイン・SDGsビジネスセミナーでは、新たな時代に必要持続可能な地域づくりを学ぶとともに、そこから生じる持続可能な生活や新たな消費者のニーズ、地域の可能性を生かしたSDGsビジネスについて学びます。

地域デザインについては、ハーバード大学大学院デザインスクールや東京大学大学院等の知見を活かした手法を学ぶとともに、生活・ビジネスの基盤となる持続可能な地域の在り方について、様々な分野の最前線で活躍する実践者をゲストに招きます。大きく変化しつつある世界の動向に目を向けることで、今後地域で起こりうる変化を先読みし、新たなビジネスチャンスに気付くことができるオンラインセミナーです。地域デザインに参画することで、変化によって生じるビジネスチャンスを真っ先に掴むために、是非ご参加ください。

## SDGs 認定制度とは？

SDGs 認定制度とは、SDGsに関して表面的な知識だけではなく、本質的な理解をした上で活動したい人たちの背中を押し、ネットワーク化を図るための制度です。白山手取川流域圏という自然によって定められた地域に注目し、その地域を愛し、活性化のために貢献することで、結果として自らも発展し、豊かさを享受することができる人・企業を増やしていくことを目指します。

そのために、最新情報の発信や、同志・企業で形成されたコミュニティへの参加機会を提供するとともに、実践する人・企業の活動を評価し、認定を行うことで、活動の発展を支援します。認定は、SDGs 先進企業経営者、アジアの女性社会起業家ネットワーク代表、元国連職員、SDGsビジネススクール代表、学識者が理事を務める民間非営利の認定組織 Beyond SDGs Japanが行い、金沢工業大学は様々なパートナーとともに活動を支援いたします。

## 白山流域でのSDGsの活動の支援制度



### STEP 2 | SDGs 研修修了者認定

地域デザイン・SDGsビジネスセミナーを合計4回受講すると、「SDGs 研修修了者」の資格が得られます。(年度をまたいだ参加も可能です。)  
サイドイベントに多く参加した人は「優良修了者」に認定されます。

## お申し込み

QRコードもしくはURLからお申し込みください。

お申し込みは各講座前日の17時まで。お申し込みいただいた方には、メールにて各講座当日の正午までにオンライン会場のURLをお送りいたします。



主催 Beyond SDGs Japan / 金沢工業大学

協力 株式会社フォルク

後援 白山市 / 白山市経済団体連絡協議会

お問い合わせ info@f-o-l-k.jp

<https://forms.gle/1AFMk7tVoFKQ7ayc9>



平本 督太郎

金沢工業大学 SDGs 推進センター長、経営情報学科准教授  
日本放送協会 (NHK) 中部地方放送番組審議会委員、慶應義塾大学SFC研究所xSDG・ラボアドバイザー

慶應義塾大学大学院卒業後、2015年度末まで野村総合研究所にて経営コンサルタントとして、日本政府の政策立案支援、民間企業の事業創造支援に従事。在任中に社長賞である未来創発ナビゲーション賞を受賞。2016年に金沢工業大学に着任し、金沢工業大学における第1回ジャパンSDGsアワードSDGs推進副本部長 (内閣官房長官) 賞受賞に、現場統括として大きく貢献するとともに、会宝産業の顧問として同企業における第2回ジャパンSDGsアワードSDGs推進副本部長 (外務大臣) 賞受賞に貢献した。

現在、白山市 SDGs 推進本部アドバイザーボード座長、SDGsアドバイザーボード (沖縄県) を務めるとともに、経済産業省のSDGsビジネス関連の補助金制度の選定委員、ジェトロSDGs研究会委員、JICAのSDGsビジネス関連制度の委員を歴任。



三島 由樹

株式会社フォルク 代表取締役 / ランドスケープ・デザイナー

1979年 東京生まれ。慶應義塾大学環境情報学部卒業。ハーバード大学大学院デザインスクール・ランドスケープアーキテクチャー学科修了 (MLA)。マイケル・ヴァン・ヴァルケンバーグ・アソシエーツ (MVVA) ニューヨークオフィス、東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻助教の職を経て、2015年 株式会社フォルクを設立。これまで、慶應義塾大学、芝浦工業大学、千葉大学、東京大学、日本女子大学、早稲田大学で非常勤講師を務める。登録ランドスケープアーキテクト (RLA) 一般社団法人ソーシャルグリーンデザイン理事。八王子市まちづくりアドバイザー。加賀市緑の基本計画策定委員。白山市 SDGs 未来都市推進アドバイザー。登録ランドスケープアーキテクト (RLA)

講座詳細・ゲスト紹介

※セミナーの内容には変更が生じる場合がございます

第1回

2021  
09/13月  
18:00-20:00

テーマ 養蜂で里山を再生する

特別ゲスト 豊増洋右氏 (株式会社 One Drop Farm)

株式会社 ONE DROP FARM (ワンドロップファーム) 代表。きさらづアグリフーズ推進協議会事務局長、千葉県農業協会 副会長、などを兼任。1976年 佐賀県生まれ。2000年 東京大学卒業後、国内大手コンサルティングファームで主に農業・食品流通などを担当。2008年より環境活動団体「ap bank」のメンバーとしてオーガニックファームの設立・運営に従事し、地域活性化を担う人財育成・組織づくりに奔走。専門は環境問題、エシカルな消費・流通づくり、地域活性化。



第2回

2021  
10/11月  
18:00-20:00

テーマ 自然と繋がる Delightful な建築・都市へ

特別ゲスト 川島範久氏 (川島範久建築設計事務所 主宰)

1982年 神奈川県生まれ。建築家、川島範久建築設計事務所主宰、明治大学理工学部建築学科専任講師。2005年 東京大学卒業。2007年 東京大学大学院修士課程修了後、日建設計勤務。2012年 UCバークレー客員研究員。2016年 東京大学大学院博士課程修了、博士 (工学) 取得。日本建築学会賞 (作品)、第7回サステナブル住宅賞 国土交通大臣賞、住まいの環境デザイン・アワード 2017 グランプリ、2020年度 JIA 環境建築賞グランプリ (JIA 環境大賞)、第25回前田工学賞など受賞。



テーマ 多様なつながりを生み出す持続可能な住宅・暮らしづくり

特別ゲスト 岩井庸之介氏 (株式会社さとやま設計社 代表)

1977年金沢美術工芸大学卒業後、松下電工 (現 Panasonic) では家電やシステムキッチンのデザインを担当、ドイツに1年駐在 1987年金沢にUターン、開業。2001年から 2006年まで金沢学院大学美術学部 情報デザイン学科助教授。2005年 21世紀美術館ミュージアムグッズの販売会社 SPOON を立ち上げ、2010年7月に社長就任。2016年 長野ポンプ GFRP 消防車がグッドデザイン賞を受賞。



第3回

2021  
11/15月  
18:00-20:00

テーマ デザインを通じた新しい地域づくり

特別ゲスト 村瀬隆明氏 (株式会社ナニラニ 代表)

1978年名古屋生。青学大卒。2001年デザイナーとしてキャリアをスタート。2005年デザインファーム (株) ナニラニを設立。ブランド戦略、ヴィジュアル開発、コミュニケーション設計など広義のデザインを志向。JINS、オムロンヘルスケア、SHIROIYA HOTEL などのブランディング等。2013年から前橋市の活性化に携わり前橋ビジョン策定などに従事。2018年自社事業として「和む菓子 なか又」を前橋市に開店。2020年 (株) スイートを設立し菓子事業に本格的に進出。



第4回

2021  
12/13月  
18:00-20:00

テーマ 那珂川流域で描くみんなの未来ビジョン

特別ゲスト 高取千佳氏 (九州大学大学院 芸術工学研究院 准教授)

1986年 愛媛県生まれ。2009年 東京大学工学部都市工学科卒業、同大学院都市工学専攻博士前期・後期課程修了、博士 (工学)。2014年より名古屋大学大学院環境学研究科助教、2019年より現職。専門は景観生態学、都市計画。グリーンインフラの創出に向け、公民学共創型の都市環境デザイン・マネジメントに取り組む。2015年日本都市計画学会論文奨励賞受賞。国土交通省グリーンインフラの社会実装に向けた検討委員会、環境省中部地方環境事務所気候変動適応における広域アクションプラン策定事業分科会副座長、九州・中部において約50の自治体の都市計画・緑地計画の審議会・委員会委員を務める。



SDGsとは？



未来に向けて安心して暮らせる社会のために

SDGs (持続可能な開発目標) とは、国連全加盟国が合意をした世界共通の目標です。持続可能な開発目標とは、「持続可能=これからずっと」「開発=発展するために」「目標=目指すこと」という意味です。すなわち、自分たち、そして自分の子どもや孫が安心して暮らせる社会を皆で協力して創っていき、そのために2030年までに17個の目標を達成しようという動きがSDGsです。